株式会社グリーンパワーインベストメント「(仮称) つがる洋上風力発電事業に係る環境影響評価方法書」に対する勧告について

令和7年8月21日
経済産業省
大臣官房
産業保安・安全グループ

本日、電気事業法第46条の8第1項の規定に基づき、「(仮称) つがる洋上風力発電事業に係る環境影響評価方法書」について、株式会社グリーンパワーインベストメントに対し環境保全の観点から勧告を行った。勧告の内容は、別紙のとおり。

また、併せて同条第3項の規定に基づき、青森県知事からの意見を勘案するよう、その写しを送付した。

1. 計画概要

住 所： 青森県つがる市、西津軽郡鰺ヶ沢町の沿岸及び沖合
原動力の種類： 風力（洋上）
出 力： 最大600,000kW

2. これまでの環境影響評価に係る手続

<計画段階配慮書>

計画段階環境配慮書受理	平成30年 1月31日
環境大臣意見受理	平成30年 4月13日
経済産業大臣意見	平成30年 4月27日

<環境影響評価方法書>

環境影響評価方法書受理	令和 6年12月26日
住民意見の概要等受理	令和 7年 3月19日
青森県知事意見受理	令和 7年 6月18日
経済産業大臣勧告発出	令和 7年 8月21日

問合せ先： 電力安全課 小西、松本
電話03-3501-1742（直通）

株式会社グリーンパワーインベストメント（仮称）つがる洋上風力発電事業
に係る環境影響評価方法書に対する勧告内容

環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について

1. 対象事業実施区域及びその周辺には、既存及び計画中の風力発電事業が複数あることから、これらとの累積的な環境影響が懸念される。このため、これら他事業から必要な情報を可能な限り入手した上で、累積的な影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。
2. ユビナガコウモリについて、北金ヶ沢の洞窟やガンガラ穴で越冬が確認され、中泊地域で夏季の生息が確認されており、春季に移動することが推測されるため、その生息状況を確認すること。
3. 対象事業実施区域及びその周辺では、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年法律第75号）に基づき国内希少野生動植物種に指定されているオジロワシ、オオワシ、チュウヒ、クマタカ等の希少猛きん類の生息が確認されているほか、ガン類、ハクチョウ類等の渡り鳥の移動経路となっている。施設の稼働により、これらの鳥類に重大な影響を及ぼすおそれがあることから、複数の専門家から助言を受け、それを踏まえた上で、適切な手法により調査、予測及び評価を行うこと。
4. 主要な眺望点及び経営資源については、青森県景観条例に基づく「ふるさと眺望点」である亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野遺跡等を景観調査地点に加えることを検討すること
5. 景観の調査について、樹木の繁茂期及び落葉期等を考慮する等、適切な調査時期に設定すること。